

**もじ☆かずくらぶ** はバラエティに富んだ教材で楽しく活動します。  
**年少(3歳)から年長(5歳)まで**「文字・数・言葉」に加え、思考力等も伸ばします。

**もじ☆かずくらぶ**

# 園から小学校への滑らかな接続のために 「学びの準備」のポイントとは



年少(3歳)用プリント例

年中(4歳)用プリント例

年長(5歳)用プリント例

## ■もじ☆かずくらぶに取り組む園児の保護者様から

子どもの社会性を育てることに役立っています！

いろいろな先生のお話を聞いたり、座って落ち着いて話を聞いたりする姿勢が身につけてきています。母親でも担任の先生でもなく、第三者の大人からほめられる経験は、確実に子どもの社会性を育てることに役立っていると思います。普段と違う先生から教わることは、子どもにとってとてもいい刺激になっています。

### 読み書きが上達しました！

「もじ☆かずくらぶ」を始めてから、ひらがなの読み書きがとても上達しました。お友だちと一緒に学ぶということが楽しいようです。お友だちと読み合いをしているところを見かけ、しっかりと身につけてきていると思いました。



## ■もじ☆かずくらぶを取り入れた園様から

文字や数への興味が広がり、聞く姿勢も身につけています！

活動を通して、子どもたちは文字や数への興味が広がったようで、自由時間に積極的に絵本を手に取り、文字を追う姿が多く見られるようになりました。また、講師の先生やお友だちのお話を聞く姿勢が、徐々に身につけてきていると感じます。

毎回、一人一回はお友だちの前に出て発表する機会があるので「人前で自分の考えを自分の言葉で伝える」力も身につけてきています。講師の先生が、子どもたちの言葉にしっかりと耳を傾け、共感し、ときに大いにほめてくださるので、自信につながっているようです。活動の内容も、体を大きく使うあそびや、お友だちとのやりとりを楽しむものなど、大変バラエティーに富んでいるので、子どもたちは集中力を切らすことなく、終始笑顔で楽しく取り組んでいます。

～社会福祉法人エテルマム保育会 天星丸保育園様～



保護者の方の小1時代より学習量が増えています。

【小学1年生の年間授業時間数】

※緑が2010年度までの時間数、赤が2011年度からの時間数です。

国語	272時間
算数	114時間
	136時間

「小1プロブレム」「つまずきの危険性」  
 「保幼・小1の滑らかな接続」の課題と幼児期の備えを、  
 現場を良く知る元先生が解説します。

# 元小学校の先生が解説

## 「保幼小の円滑な接続」の課題と幼児期の対策

2018年、幼児教育に関する法令の改訂で「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」が示されました。これらは、育ってほしい子どもの姿の方向性であり、小学校入学後も継続して育てていくものです。そのためにも、幼児教育と小学校教育の円滑な接続は必要不可欠なものです。

ところが、園での生活と小学校生活には大きな違いがあり不適應を起こす子どもも少なくありません。入学当初、子どもたちは、まず、時間割によって学校生活が進められていくことにとまどいを感じます。特に45分間座って学ぶことに大きなストレスを感じる子どもも多いでしょう。

幼児教育が、遊びや生活体験など自発的な活動を重視する経験カリキュラムが進められるのに対し、小学校では時間割に基づいた学級単位の学習が原則となる教科カリキュラムが進められます。そのため、**集団で一斉に行動することも多くなり、この環境の違いが「小1プロブレム」**の大きな原因と考えられています。

※授業中、先生の話をお聞きせず立ち歩いたり、教室から出て行ったりなどの問題が起こっています。

そこで、小学校入学後の子どもたちの戸惑いを小さくするために、幼児期からしっかりと学ばせることが大切です。「**みんなと一緒に学習することは楽しい**」「**自分の考えを言えてうれしい**」など学ばせる楽しさを経験し、子どものやる気や集中力、探求心が高まると、新しい環境でも積極的に学ばせることができます。

### 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量・図形、文字等への関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現



### 「わからない」の不安・とまどい

保護者世代の小学校に比べて学ぶ内容が増えていきます（※表紙グラフ参照）。  
 どんどん進む授業に「わからない。どうしよう」という不安やとまどいを抱くことも。「わかる」「知ってた」と少しでも思えれば、授業にポジティブにのぞめます。

また、2011年度実施の小学校学習指導要領からは、小1の学習量が増え、内容も難しくなっています。

幼児期に学ばせる基礎となる「**文字・数・言葉**」に楽しく触れ親しんでおくことは、入学後の不安を払拭するだけではなく、「**わかる喜び、できる喜び**」を実感し、さらなる学習意欲につながることでしょう。

入学後の子どもたちが幼児期の経験を通して身につけた学ばせることと育ちを基盤に、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り上げていくためには、園での学ばせる方が極めて重要だと考えます。

### 解説してくださったのは 村田 稔子先生

京都市の小学校校長などを務められた経験豊富な先生です。全家研ポピー教育対話主事として、さまざまな教育支援活動に取り組まれています。



# もじ☆かずくらぶ は、小1の学習につながる「ことば・もじ・かず・ちえ」を園のお友だちと一緒に理解していきます。



楽しいプリントを素材にします。  
 ※下の上段画像3点がプリントの見本です

同じ物を見て、おはなしを聞き、理解を進めます。

## もじ☆かずくらぶ 学びの内容例

※年長（5歳）の課題例です。

### かず いくつといくつ

なんびき いるかな？ さるの かずを かぞえて、すずしの シールを はりましょう。

### かず とけい

なんしに なにを して いるのかな？ とけいを みて、すずしの シールを はりましょう。

### もじ をの字

「を」をかきましょう。かけたら ふんに なるように ことばを せんで つなぎましょう。

## もじ☆かずくらぶで体験したことが小1の授業内容につながります

たし算・ひき算の基礎となる「**数の合成・分解**」につながります。くり上がり、くり下がりの計算でも重要に！  
 小1でつまづきやすいが授業で扱われる時間が少ない「**時計の読み方**」に、慣れておくことができます。  
 助詞の「**へをは**」と「**えおわ**」の違いは、小1の国語で子どもたちが間違えやすい内容です。

### 数の合成・分解

ふえと なんびき になりますか。ことに ことばや かずを かきましょう。

### 時計の読み方

ただしく よんで いる ほうに ○を つけましょう。

### 助詞のへをは

えを みて、○に 「は・を・へ」の どれかを かきましょう。

※下段の画像はすべて教科書に沿って作られている「小学ポピー 1年生」のワーク内容です。